

令和7年度和歌山県DXチャレンジサポートプログラム実施業務における  
質問に対する回答

令和7年4月17日  
和歌山県商工労働部  
企業政策局企業振興課

No. 1 質問事項

○公募要領又は仕様書のページ数、項目番号等

【公募要領】6 委託事業者の選定及び評価方法 (3) 評価項目

○質問内容

別表「評価基準」についてホームページ等で確認ができませんので、共有のほどどうぞよろしくお願いたします。

No. 1 回答

公募要領へ記載のある別表「評価基準」の資料が掲載漏れとなっておりました。  
ホームページ上の公募要領へ別表「評価基準」の資料を追加掲載いたしましたので、ご確認をお願いいたします。

令和7年度和歌山県DXチャレンジサポートプログラム実施業務における  
質問に対する回答

令和7年4月25日  
和歌山県商工労働部  
企業政策局企業振興課

No. 2 質問事項

○公募要領又は仕様書のページ数、項目番号等  
公募要領 P2 5 提出書類 (1) 提出書類  
○質問内容  
「②企画提案書(任意様式)」とありますが、最低限記入すべき事項及びページ数の上限は  
ありますでしょうか。

No. 2 回答

とくに最低限記入すべき事項及びページ数の上限は定めておりません。

令和7年度和歌山県DXチャレンジサポートプログラム実施業務における  
質問に対する回答

令和7年4月25日  
和歌山県商工労働部  
企業政策局企業振興課

No. 3 質問事項

○公募要領又は仕様書のページ数、項目番号等  
仕様書 P2 5 委託する内容 e. DX 伴走支援プログラムの参加企業数  
○質問内容  
参加企業数は「4 者以上」とあります。  
参加企業数が4 者を超える場合はどのようなケースが想定されますでしょうか。また上限とする企業数は設定されていますでしょうか。

No. 3 回答

参加を希望する企業を審査会で4 者以上へ選抜いたします。4 者を超える場合の想定は、委託事業者様が、4 者を超える企業の場合であっても、4 者の場合と支援内容が遜色なく可能な体制である場合を想定しており、4 者を超えて支援を実施するかどうかの判断は委託事業者様へ委ねます。  
また、上限とする企業数は定めておりません。

令和7年度和歌山県DXチャレンジサポートプログラム実施業務における  
質問に対する回答

令和7年4月25日  
和歌山県商工労働部  
企業政策局企業振興課

No. 4 質問事項

○公募要領又は仕様書のページ数、項目番号等

仕様書 P2 5 委託する内容 g スケジュール

○質問内容

7月1日に「DXセミナー（DX チャレサポ成果発表会【過去の支援者】）」とあります。

このセミナーはどのようなセミナーを想定されていますでしょうか。想定する参加者やアジェンダ等を教えてください。

No. 4 回答

7月1日に開催を予定している「DXセミナー（DX チャレサポ成果発表会【過去の支援者】）」は、和歌山県が主催するDXの機運醸成・啓発を図るためのセミナーの一環になります。

セミナーの登壇側で想定する参加者は、過去3年間で当事業へ参加された企業様のうち6社程度及び過去に当事業の委託事業者として、ご支援していただいた企業様2社と本年度の委託事業者様を想定しております。

セミナーの拝聴側で想定する参加者は、DXに興味のある県内企業30社程度を想定しております。会場の手配、セミナーの周知、参加者の募集等は、県で対応させていただきます。

アジェンダは、下記2点を想定しております。

1. 過去当事業へ参加した企業様が感想や現在の発表（1社15分程度を想定）
2. 本年度の委託事業者様が当事業の内容を発表  
（時間や内容は、契約後に協議して決めたいと想定しております。）

令和7年度和歌山県DXチャレンジサポートプログラム実施業務における  
質問に対する回答

令和7年4月25日  
和歌山県商工労働部  
企業政策局企業振興課

No. 5 質問事項

○公募要領又は仕様書のページ数、項目番号等  
その他  
○質問内容  
今年度のプログラムに前年度の成果を活かすため、  
昨年度実施したプログラムの成果発表会のアンケート結果、及び成果報告品（見解や提言  
などをまとめた報告書）等を共有して頂くことは可能でしょうか。

No. 5 回答

昨年度実施したプログラムの成果報告品等を共有することはできません。和歌山県のホームページ上に過去のDXチャレンジサポートプログラムの事例や、成果発表会等の資料及び広報番組による映像を掲載しておりますので、参考にご覧いただければと存じます。  
(<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/061000/d00213454.html>)

令和7年度和歌山県DXチャレンジサポートプログラム実施業務における  
質問に対する回答

令和7年4月25日  
和歌山県商工労働部  
企業政策局企業振興課

No. 6 質問事項

○公募要領又は仕様書のページ数、項目番号等  
公募要領 P2 5 提出書類 (1) 提出書類  
○質問内容  
③見積書 (任意様式)  
経費内訳を記載し、宛名は「和歌山県知事岸本周平」とすること。  
とありますが、どのように記載変更をすればよいでしょうか。

No. 6 回答

副知事が職務代理をしておりますので、宛名は「和歌山県知事岸本周平」で構いません。

令和7年度和歌山県DXチャレンジサポートプログラム実施業務における  
質問に対する回答

令和7年4月25日  
和歌山県商工労働部  
企業政策局企業振興課

No. 7 質問事項

○公募要領又は仕様書のページ数、項目番号等

仕様書5 g. スケジュール（目安）

7月1日（火）DXセミナー（DXチャレサポ成果発表会【過去の支援者】）

○質問内容

本セミナーについて具体的な仕様書の記載がないことから、本セミナーに関する企画・集客・運営・設営等は全て委託業務範囲外という理解でよろしいでしょうか。

No. 7 回答

本セミナーに関する企画・集客・運営・設営等は全て委託業務範囲外という理解で合っております。

令和7年度和歌山県DXチャレンジサポートプログラム実施業務における  
質問に対する回答

令和7年4月25日  
和歌山県商工労働部  
企業政策局企業振興課

No. 8 質問事項

○公募要領又は仕様書のページ数、項目番号等

仕様書 5. 委託する内容 g. スケジュール（目安）

7月1日（火）DXセミナー（DXチャレサポ成果発表会【過去の支援者】）

○質問内容

過去の支援者については、全先成果発表会に参加いただけることで確定していますでしょうか。開催日時等の調整は別として、参加意思が確定している、あるいは参加が必須になっているかの確認となります。（仮に本セミナーが委託業務範囲内の場合）

No. 8 回答

本セミナーへの登壇は、委託業務範囲内に入るとご理解ください。詳細については、No. 4及びNo. 7の回答をご覧ください。

また、過去の支援者について、成果発表会の参加は必須にはなっておりませんが、大半の事業者様からは、参加いただける旨の意思を確認しております。

令和7年度和歌山県DXレンジサポートプログラム実施業務における  
質問に対する回答

令和7年4月25日  
和歌山県商工労働部  
企業政策局企業振興課

No. 9 質問事項

○公募要領又は仕様書のページ数、項目番号等

仕様書 5. 委託する内容 c. DX 伴走支援プログラムの参加企業の公募、選定

○質問内容

審査会を開催のうえ選定することとなっていますが、審査会における意思決定権者は和歌山県庁という理解でよろしいでしょうか。審査委員を○名選抜し、審査委員過半数以上の承認を得て決定するなどのように想定されている審査会設置・運営要綱などがあれば教えてください。

No. 9 回答

審査会についての詳細は、現段階では定めておりません。受託者との協議により、決めたいと想定しております。

令和7年度和歌山県DXチャレンジサポートプログラム実施業務における  
質問に対する回答

令和7年4月25日  
和歌山県商工労働部  
企業政策局企業振興課

No. 10 質問事項

○公募要領又は仕様書のページ数、項目番号等

仕様書 5. 委託する内容 j. 成果発表会の開催

○質問内容

「他の県内企業“等”」となっていますが、県外企業が参加することは可能でしょうか。

No. 10 回答

県外企業であったとしても、工場等が県内にある企業など、県内におけるDXへの取組機運の醸成につながるのであれば、県外企業が参加することは可能です。

令和7年度和歌山県DXチャレンジサポートプログラム実施業務における  
質問に対する回答

令和7年4月25日  
和歌山県商工労働部  
企業政策局企業振興課

No. 1 1 質問事項

○公募要領又は仕様書のページ数、項目番号等  
仕様書 5. 委託する内容 j. 成果発表会の開催  
○質問内容  
希望する参加者について制限をかける想定はございますでしょうか。  
例えば、個人での申込は不可とする。県内に本社または営業所等の拠点がある企業や各種  
団体に限るなどです。

No. 1 1 回答

参加者についての制限は、現段階では定めておりません。受託者との協議により、決め  
たいと考えております。  
ただし、模範となるDXのロールモデルを創出、集積・発信することを目的としている  
ため、同業種の参加者が重複することは、可能な限り避けたいと想定しております。

令和7年度和歌山県DXチャレンジサポートプログラム実施業務における  
質問に対する回答

令和7年4月25日  
和歌山県商工労働部  
企業政策局企業振興課

No. 1 2 質問事項

○公募要領又は仕様書のページ数、項目番号等

仕様書5 e. DX 伴走支援プログラムの参加企業数

○質問内容

令和6年度は3者以上となっていました、今年度から4者以上へ変更となった理由について教えてください。

No. 1 2 回答

県内企業からDXに取り組むための伴走支援が必要であるとの声が多く聞かれます。

本県では、県内企業のDXを加速させることを目的としており、昨年度を上回る企業数の支援を実施したいという考えから、今年度は4者以上へ変更をさせていただきました。

令和7年度和歌山県DXチャレンジサポートプログラム実施業務における  
質問に対する回答

令和7年4月25日  
和歌山県商工労働部  
企業政策局企業振興課

No. 13 質問事項

- 公募要領又は仕様書のページ数、項目番号等  
仕様書5 e. DX 伴走支援プログラムの参加企業数
- 質問内容  
対象業種について昨年度から変更点がありますが、変更理由およびなぜ下記業種を対象に設定したのか目的を教えてください。
- 今年度  
人手不足分野（製造業、情報通信業、卸・小売業、宿泊・サービス業、建設業、運輸業、医療・福祉）
- 令和6年度  
・地場産業分野（繊維、化学、機械金属、食品加工、家庭用品、情報通信）  
・観光分野（宿泊、小売、卸売）

No. 13 回答

本事業は、厚生労働省の地域活性化雇用創造プロジェクトの一環であり、「わかやま人材確保・育成支援事業」の枠組みの中で実施される事業となります。

地域経済の持続的発展を支える人材の確保・育成を事業テーマとしており、人手不足分野の業種を対象とすることで、より幅広く企業の支援を実施するために変更いたしました。

令和7年度和歌山県DXチャレンジサポートプログラム実施業務における  
質問に対する回答

令和7年4月25日  
和歌山県商工労働部  
企業政策局企業振興課

No. 14 質問事項

○公募要領又は仕様書のページ数、項目番号等

仕様書1 概要

○質問内容

「模範となるDXのロールモデルを創出」とありますが、過去に本事業へ参加した企業は和歌山県におけるDXのロールモデル（模範企業）に十分になったという成果（評価）をしていますでしょうか。仮に不足している点や課題がある場合はその点についても教えてください。

No. 14 回答

過去に本事業へ参加した企業は、和歌山県におけるDXのロールモデル（模範企業）として、一定の成果があったと考えております。

しかし、過去参加企業10社のうち地域別では和歌山市7社、海南市2社、田辺市1社となっており、支援企業のなかでも地域差が出ております。さらに県内企業の模範となるDXのロールモデルを創出するためには、より県内企業のなかでも地域や業種的にも幅広い支援が必要ではないかと考えております。

令和7年度和歌山県DXチャレンジサポートプログラム実施業務における  
質問に対する回答

令和7年4月25日  
和歌山県商工労働部  
企業政策局企業振興課

No. 15 質問事項

○公募要領又は仕様書のページ数、項目番号等  
仕様書 5. 委託する内容 c. DX 伴走支援プログラムの参加企業の公募、選定  
○質問内容  
過年度に参加企業を公募するにあたって課題があった場合は教えてください。  
例えば、HP、各種経済団体へのチラシ配布、SNS、WEB 広告などを活用したが、想定よりも応募が集まらなかったなど。

No. 15 回答

過年度の公募については、県HP、各種経済団体等及び県主催セミナー等でのチラシ配布などの広報活動を実施し、概ね想定数の応募は集まりました。  
しかし、昨年度を上回る県内企業の模範となるDXのロールモデルを創出するためには、より幅広い地域や業種への企業支援が必要であると考えております。  
本年度は、SNS、WEB広告などを積極的に活用して、県内全域から参加企業が集まるような取り組みを目指したいと想定しております。